



Beyond KUSS , 2025 !!



11 月進路希望調査

省略

11 月に入り学校推薦型選抜の出願も始まり、総合型選抜の合格発表も始まっています。先日の共通テスト模試、感触はどうでしたか。納得できる得点ができた人も、自身としては不本意と考える得点だった人も、1 問でも「理解正解」が多くなるよう、地に足をつけて学習を続けてください。「合格しないかもしれない症候群」という不安に呑み込まれていかないよう、自分の意思(「志望力」、「出願力」)を大切にしてください。

先日の進路希望調査にもとづき、11 回生の志望状況を紹介します。志望者が 5 名以上の大学は、神戸、東京、京都、大阪、大阪公立の 5 校です。6 月段階では北海道大学を 5 名が志望していましたが、今回は 3 名です。逆に大阪公立 3 名から増加しています。10 回生はこの字に大阪公立志望者はいませんでした。神戸・東京・京都・大阪 4 校の志望者は 76 名で 10 回生よりも多く、学年の 70% 弱になります。神戸、京都、大阪の 3 大学それぞれの志望者が 20 名以上いるのは、これまでにない状況です。大阪大学志望者の半数近くが工学部というのも珍しいです。神戸大学は文系学部・理系学部がほぼ同数です。東京大学の文系志望者が例年よりも少ないです。公立大学志望者は例年よりも多いです。10 回生は医学科志望者が多かったですが、11 回生は 9 回生以前に戻りました。

今の「志望力」を「出願力」に発展させるためには、地に足をつけて学習することが大切です。11 月～12 月、学習面でも、精神面でもいちばんしんどい時期です。不安や心配は成績に関係なく受験生に襲いかかります。そんな時期、「合格しないかもしれない症候群」に呑み込まれそうになったら、先生方に相談しましょう。

合否結果の報告は大至急

国立大学の共通テストを課さない総合型選抜や学校推薦型選抜、私立大学の総合型選抜や学校推薦型選抜、11 月～12 月にかけて合格発表が続きます。合否結果は家族に伝えると同時に、担任、学年又は進路課に報告をお願いします。合否にかかわらず、結果が出た後が大切です。報告が遅れないようにお願いします。

合格した人は不合格の人にも十分理解し、学校での言動を心がけてください。残念ながら不合格であった人は、先生方と次に向けての話を十分に行ってください。出願し、受験したら、合格か不合格、必ずどちらかの結果を受け取ることになります。

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

『Beyond KUSS , 2025 !』など進路課が発信する情報の一部を HP に掲載しています。